



映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

8組 5番 名前 岡田礼乃

【映画】

ソニー

【レビュー】 <ソニーの魅力>

この映画を見終えて一番に感じたことは、娘の夢を応援してほしいソニーの母への怒りです。ソニーが自分の夢を叶えるために、粘り強く行動し続けた点に感銘を受けたと同時に感動しました。しかし、ソニーの思いに反して、ソニーの母は、何もかもお金に絡めつけていて、一向にソニーの応援をしていない様子だったので、心が沈みました。特に、ソニーの母がソニーをアメリカに連れていこうとしたのは、2000ドルを要求したこと、ソニーがアメリカに渡った際、「お金を絡めれば母も納得してやるからいい」と言ったこと、アメリカに渡る前、母へのプレゼントで、セクスを渡したその理由が、「金目の物はら喜んでくれるから」と言ったこと（母、話の中で常に「お金、どめり事は悲しく（？）はした。また、私からしたら、理不尽な風潮が多い）、映画を見ている間にはとにかく可哀想に感じました。例えば、「女性は歌をいける身」、「半数以上の女子は慣習で親の言う通りに結婚する」といっています。映画にでてくる子供たちは皆、それぞれの問題を抱えていながらも、何とか状況を受け入れようとしており、胸が痛くなりました。ソニーが作るMVには、ソニーの顔にバーコードが描かれており、まるで商品があるかのように描写されているので、そのようは実情にも胸が痛くなりました。親が生活をするためにソニーを結婚させようとしており、そのようは慣習は、一早く「お嫁さんだ」と思いました（その間は厳しい中でもソニーは自分の意志を曲げずに、初志貫徹であったので、自分も、そんな姿を見習うべきだと思いました。この映画は、今、夢を見つづける、暗中模索している人に見てほしいと思います。自分の身元を証明できるものがあるのはソニーが、明るい未来を切り開くことのできることで、誰にでも夢は叶えられるという事を教えてくれる映画です。「ソニー」と見終わって一瞬には、自分の将来のために、何か行動を起こさなければなりません。